

# クロースアップ 日光人



ふくだ かずみ  
**福田 和美**さん 七里 在住

日光近代史研究家の福田和美さんを紹介いたします。避暑地日光の歴史を発掘してきた福田さんは、このたび長年の謎であった現JR日光駅舎の設計者を解明しました。福田さんが駅舎について調べ始めたのは平成15年。県の近代化遺産の総合調査員に任命されたのがきっかけでした。大正元年に改築された現在の駅舎の設計者を探る重要な手がかりは、関係者らの名が記された棟札。その中に「鉄道院技手明石虎夫」の名が書かれていました。しかし、彼が監督員なのか設計者なのか分からず、福田さんは鉄道関連の資料を徹底的に調べましたが、有力な情報を得

ることはできませんでした。行き詰まった調査に転機が訪れたのは昨年11月。たまたま大正末期の日本建築学会の資料を見ていたとき、名前が一字違いの建築家「明石虎雄」の訃報記事を発見しました。「経歴や資料から判断して、この人物に間違いない」と確信した福田さん。諦めなければ問題解決の糸口は必ず待っている」と再認識したそうです。

欲しい情報は常にアンテナを張っていないとキャッチできないと話す福田さんの就寝時間は、明け方の3時ごろ。それまでは資料整理や調べ物に時間を費やすそうです。「二つの分野だけ専門的に見るのではなく、情報はさまざまな角度から広く当たる必要があります。大変な作業ですが、作業量が多ければ解決の糸口はそれだけ広がります。また、自分の知識を常に補っていかないと、情報の発



現 JR 日光駅の駅舎

するサインに気付きません」日光駅の魅力について、福田さんは「嫌味が無い端正な建物。見ていると疲れない」と話します。「短かった虎雄の一生は、実に謙虚だった。自己主張をしない控えめな彼の奥ゆかしさが、建造物にも表現されていると思うと感慨深い」と目を細めます。福田さんは「日光の歴史は不完全なパズルと同じ。欠けているピースがたくさんあります。それらを見つけていくのが研究者。これはやりがいがある作業です」と意気込みを語ります。今後も福田さんの活躍から目が離せません。

**紹介したい人、サークルを募集しています！**

クロースアップ日光人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。

※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。**連絡先及びくわしくは** 秘書広報課 広報広聴係

☎(21)51335

## まちのほっとNEWS

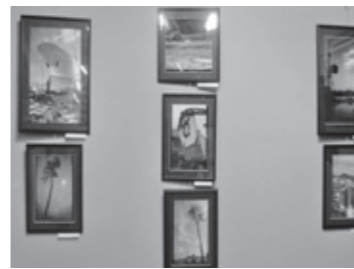


**シルバー人材センターまつり** 3/19・20 今市  
生きがいセンターで、シルバー人材センターまつりを開催しました。会場では、シルバー人材センター会員作品(書道や写真、陶芸など)や、放課後児童クラブの子どもの作品展示、木工品・和紙工芸品・農産物の即売を行いました。その他、体験コーナーや模擬店もあり、多くの来場者でにぎわいました。



文・写真: シルバー人材センター

**被災地の写真展を開催** 3/12・13/24 今市  
難病を抱える風景写真家、新井栄司さんが撮影した、東日本大震災被災地の写真展を開催しました。被災地の惨状を記録に残そうと、撮影を始めた新井さん。しかし被災者と触れ合ううちに、他の被災地の様子を知らない人が多いことを知り、写真展の開催を考えたとです。被災地を含む9カ所で開催予定です。



文・写真: プラチナホーム今市

**ポットラックパーティーを開催** 3/16 今市  
参加者が、料理やお菓子を一品持ち寄り会話を楽しむ、ポットラックパーティーを開催しました。外国人との交流に関心のある日本人と、在住外国人、市国際交流協会の日本語教室で学習中の生徒が参加。おいしい料理やお菓子を食べながら、話題の尽きないひとときを過ごし、お互いの交流を深めました。



文・写真: 市国際交流協会

**健康にしよう21キャンペーン** 3/19 今市  
イオン今市店で健康にしよう21キャンペーンを開催しました。この日は、健康課職員が骨密度の測定や健康づくりに関するパネルの展示、各種がん検診申し込みの受け付けを行いました。骨密度測定を受けた方は熱心に測定結果を聞き、生活習慣や運動習慣などを振り返るなど、健康について改めて考える機会となりました。



文・写真: 健康課

**避難所体験などを実施** 3/23・24 日光  
市災害ボランティア支援センターが主催する、地震発生を想定した避難訓練と1泊2日の避難所体験を、日光福祉保健センターで実施しました。この事業には、同センター近くの花石町・久次良町・裏見台の各自治会の皆さんが参加。避難経路や、避難所の課題と対応など、有事の際に役立つスキルを学びました。



文・写真: 市災害ボランティア支援センター

**初代車両のさよならセレモニー** 3/31 定尾  
わたらせ渓谷鐵道で、平成元年の開業当初から走っている初代車両「わ89-10号」のさよなら運転を行いました。出発式では、同鉄道の榊澤社長とキャラクター「わっしー」が出発合図を行い、大勢のファンが駆けつけました。同車両は、今後、群馬県みどり市の大間々駅の構内で、静態保存される予定です。



文・写真: わたらせ渓谷鐵道

**身近なニュースを募集しています!!**  
このコーナーでは、皆さんから記事と写真の投稿を募集しています。**募集する記事** 自治会の催しや、地域のちょっとした珍しい出来事、心温まるエピソードなど  
※内容によっては掲載できない場合があります。**応募方法** 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、持参または郵送、メールでご応募ください。

○記事: 140字程度(題名、日付、場所を別に記載してください)  
○写真: 紙焼きしたもの・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れてしまうもの不可とします。  
**あて先** 〒321-1292 今市本町1番地 日光市役所 企画部 秘書広報課 広報広聴係 **メール** hishokuhou@tyntiko.lg.jp